

# 富山市科学博物館展示更新計画検討委員会の 目的及び計画策定までのスケジュール

## 1 展示更新計画策定にあたっての背景

- ①富山市科学博物館(以下「科学博物館」という。)は、現在地に開館してから43年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、展示を更新するにあたっては、長寿命化と併せて今後を見据えた総合的な検討が求められている。
- ②常設展示は、前回の更新から15年が経過し、内容に社会情勢の変化や科学の進歩を伴っていないものがあるとともに、装置類の経年劣化が進んでいることから、更新が必要となっている。
- ③天文台の廃止に伴う天体観察機能の再構築<sup>※1</sup>については、科学博物館の展示内容全般の方向性や令和5年3月にリニューアルしたプラネタリウムとの連携、更には将来市民の負担などを考慮し、その方針を定める必要がある。

※1 天体観察機能については、平成30年度に策定した「富山市天体観察室設置・プラネタリウム更新基本計画」において、その方向性を示したが、設置候補地の立地環境や経済状況等の変化により、現状では方針は未定となっている。

## 2 展示更新計画の方向性

- ①科学博物館の理念と使命に基づいたものとする。
- ②来館ごとに変化を感じられるよう、また更新費用の平準化の観点から、複数年で順次部分的に更新を行う計画とする。
- ③天体観察機能再構築のあり方を含めた計画とする。検討にあたっては新しいプラネタリウムとの連携等を考慮する。
- ④限られた財源の中、必要最小限の投資で最大の効果が得られるものにする。
- ⑤計画期間は令和6年度を初年度とする15年間の運用におけるものとする。

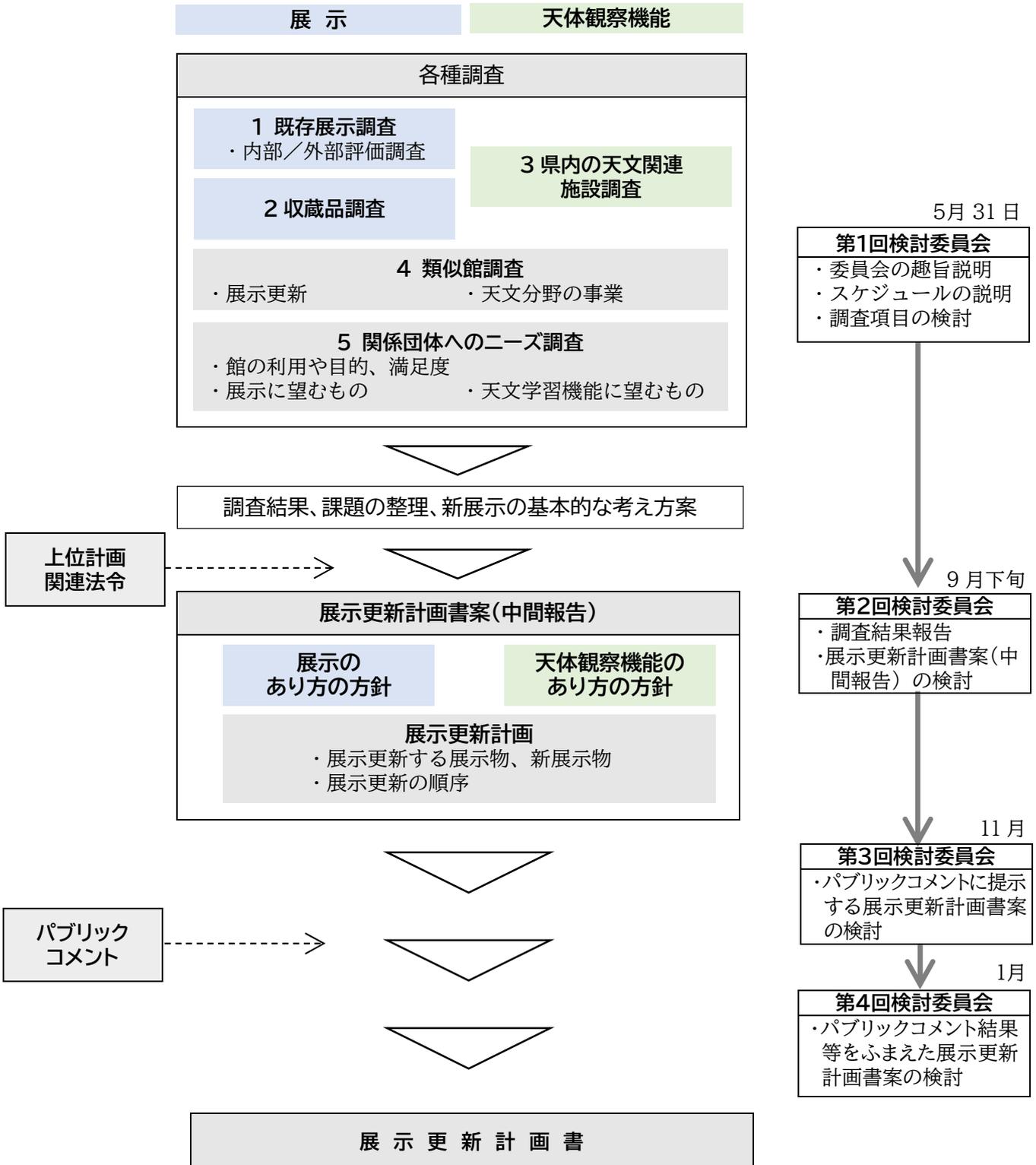
## 3 検討委員会の目的

上記の方向性に基づき、令和6年度以降、展示更新を計画的に進めることができるように計画を検討するもの。

## 4 計画策定までの流れ

### <計画策定>

### <検討委員会>



## 5 今後のスケジュール(予定)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 既存展示調査			調査・整理									
2 収蔵品調査			調査・整理									
3 県内の天文関連施設調査			調査・整理									
4 類似館調査				調査・整理								
5 関係団体へのニーズ調査		設計 実施		分析								
6 展示のあり方の方針					検討							
7 天体観察機能のあり方の方針					検討							
8 中間報告書類の作成				作成								
9 検討委員会の開催		① 調査・検討項目、 各種調査内容の提示				② 調査結果報告 中間報告提示		③ 更新計画書案 提示		④ パブコム等を踏まえた 更新計画書案提示		
10 展示更新計画書の作成							案作成	案修正		確定版・概要版 作成 印刷		
11 パブリックコメント								パブリックコメント				